

馬文治さんの日記

初めての日記

2017.09.07

馬文治です

よろしくね😊

これは日本語で投稿されたものです

馬文治さんの日記

日本での楽しい日々

2017.09.08

ハハハハ

許君といっしょに塑像の姿を真似ておもしろいです～



これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#2 学校初登校・学園祭

2017.09.30

大分市に着いた時、もう夜でした。夜だけど、大分駅前やはりにぎやかでした。明日からの学校生活がどうですか？私も許君も楽しんでいます。寮でやさしい寮母さんと先輩たちは寮について説明してくださつて、本当に助かりました。快適なベッドでよく寝ました。

次の日、教員室でクラスメートとの出会いを待って、不安で期待な気持ちを持ちました。やっと先生に呼ばれて、許君といっしょに教室に入りました。自己紹介をしてからプレゼント「布の虎」をみんなに送りました。みんなの笑顔を見て嬉しかったのです。クラスメートは親切にクラスについて詳しく教えてくれました。

初めて日本高校の授業を受けるのは新しい経験で、先生は早く話しますからちょっと大変です。特に古文は現代文とぜんぜん違ってわかりにくいと思います。でも、国語で日本文化が体験できますから、難しくても頑張りましょう！

一週間経って、学園祭になりました。みんなはクラス展演を準備し始めて、私も毎日放課後教室に残って、「ドア」を描いたり飾ったりしました。「不思議の国のアリス」というテーマの展演は大成功でした。ほかのクラスもいいアイディアを出しました。「昭和の町」は先生たちの小さいころの写真で飾って、おもしろくてテーマをよく表わしました。文芸発表の日、うちのクラスは「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」を発表して、演技が素晴らしいかったです。

学園祭が終わって、今すぐ中間テストです。日本での初めのテストですから、きっとよく復習します。みなさんも、一生懸命頑張りましょう！





これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#3 大分市のお気に入り場所

2017.10.22

岩田学園の寮では、もう一ヶ月過ごしました。寮の生活が楽しかったのは、クラスメートとの関係がいいからだけでなく、毎度出かける時大分川のいい景色が見えるからです。

学校の正門を出て、木に光を遮られて暗い感じがしますが、土手を上ったら、大分川が見られて目の前がぱっと明るく開けます。それはとてもいい景色だと思います。晴れる日、日の光は水に反射されて、眩しいほど明るいです。中国語には「波光粼粼」という成語があって、こういう景色でしょう。そよ風に吹かれる葦が波のように揺れます。葦の音が聞こえるほど静かです。日の方を向いて、太陽の暖かさを感じて、心も静かになってしまいます。それに、青空を見て、白い雲の姿を楽しむのも気持ちいいです。大分川は有名な観光地ではありませんが、川辺で散歩したり休んだりしてもいい体験だと思います。

中国語に「一方水土養一方人」という俗語があります。南京の人々は揚子江の水を飲んで、揚子江に対して特別の気持ちを持っています。大分の人々はどうでしょう？



これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#4 好きな学校の授業

2017.11.26

日本の高校で勉強していますから、もちろん日本語で授業を受けます。聞くだけはよくわかることができませんが、先生はテキストで説明したり、黒板で字を書いたりして、理解しやすくなります。日本史の授業では、漢字がたくさんあるので、授業が少し難しくても好きになりました(笑)

日本史の先生は野田先生でございます。野田先生もバスケット部の担任で、授業のスタイルはバスケットの試合のように速いです。黒板で字を早く書くし、内容を早く説明するし、少しうっかりしてもダメです。ちょっと大変だと思いますが、日本語ヒアリング力を上達できると同時に、日本史の授業でわからない日本の近代史が勉強できますから、毎週二回の日本史を楽しみにしています。

ある時、野田先生は新聞を持ってきて、時事について話されます。これによって、日本の選挙、社会問題などのことを知りました。

これから的一年間、きっと日本史をいろいろ勉強します。帰国後友達に紹介したら有意義なことだと思います。ほかに、中国に関する日本史で日本人たちはどのように考えるか、知りたいです。

これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々 #5 部活動紹介

2017.11.26

剣道部に入ってから今まで、もう一ヶ月になりました。やはり初心者ですが、この一ヶ月間、剣道についていろいろ勉強しました。

アニメがきっかけで、「剣道」ということを知りました。剣道部に入ることができるし、剣を持つこともできるし、本当に興奮しました。剣道の阿部先生が教えてくださった動きをずっと練習しても疲れていませんでした。でも、毎日繰り返して練習して、つまらないと思いました。剣道に左手の力で剣を振るので、剣は手を止められずに磨いてけがをしました。剣を持つだけでも痛かったです。正座の時膝も痛くなりました。やめる考えもありましたが、先生が言った「自分に勝つのが大事だ」という言葉を思い出して、やり続けるのを決めました。

先輩たちと違って、私たちは初心者の身分で面をかぶってみました。こても胸もいっしょにつけて、先生は私と許君を正式に戦わせました。初めははじめに攻撃、防御しましたが、数回戦い合った後、動きが全部乱れているようになりました。先生は笑いながら、「おもしろいですか？ 実戦のために、これから簡単な動きを繰り返して練習しましょう」と言ってくださいました。そうですね。どんなに難しいことも、最初の簡単からやるのでしょう。

許君は先生と練習している時、軽く打ちました。先生は「やさしく打つのはだめだけど、乱暴に打つのはだめです。しっかり正しく打ってください。それに、相手に打たれるのも練習です。」とおっしゃいました。今考えて、剣道は打つ道ではなくて、身と心の道だと思います。

剣道で日本文化を体験できて、剣道を楽しんでいくつもりです。

これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#6 日本のクリスマス

2018.01.02

クリスマスは、世界中人気がある節句だと思います。中国にいた時、クリスマスは日本語科のクラスメートたちとパーティーを楽しんだり、プレゼントを交換したり、とてもいい思い出でした。

日本のクリスマスはどうでしょう？

クリスマスは25日でしたが、寮は先にパーティーを開催しました。朝は寮生全員のドッヂボールとバレーボールのマッチでした。みんなグループでチームワークして、楽しい試合でした。午後はもちつきをしました。初めて体験したことだから、許君も私もまじめにやってみました。できあがったものはねばねばしてめっちゃおいしかったです。夜はしゃぶしゃぶ食べたり、各学年寮生の発表を見たりして、みんなといっしょに楽しんだパーティーでした。ちょっと残念だったのは、BINGOゲームで最後のプレゼントを取り逃がしました…

クリスマスイブは担任の河野先生のお宅で過ごしました。先生が買ってくださったクリスマスケーキを食べました。驚きかつ喜んだのは、先生から大好きなワンピースのカードゲームをいただきました。ありがとうございます～

遅れてしまいましたが、みなさん、クリスマスおめでとうございます！

また、どうぞ良いお年を！





これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#7 冬休み

2018.02.25

「この冬休みは、きっと特別な冬休みでしょう...」僕、そう思っていました。

岩田での一つ目の学期が終わり、ようやく冬休みが近づいてきました。冬休みに寮は閉めたから、四人のクラスメートたちと河野先生の家でホームステイをしました。この間をきっかけに日本人の日常生活に寄せて、どの家でも独特な体験がありました。

みんなは、お寺でもなく神社でもなく「お地蔵さん」と呼ばれる所を知っているでしょう。田畠さんの家族は僕たちを連れて「高塚愛宕地蔵尊」に行って、初めてこのような所に参拝しました。特に僕は初めて大吉のおみくじを引いて、嬉しかったです。そのおみくじを記念に大切に持つつもりです。それに、田畠さんのうちは和室なので、日本の「こたつ」を初めて体験しました。

「初めて」の体験は田畠さんの家で過ごした間ではなく、担任の河野先生の家で日本のクリスマスを過ごし方をわかるようになってきて、初めてクリスマスケーキを食べたり、初めて日本の方の先生からクリスマスプレゼント（ワンピースのウノです。台湾の生徒との交流会で本当に役に立ちました）をいただいたりしました。

次は、松田君の家の二日間でした。忘れられないのは三つです。一つ目は、初めて日本の犬「ムギちゃん」を遊んだことです（笑）二つ目は、友達三人といっしょに「カントーヨーガ」という、ジャッキー・チェンが主演する中国の映画を見たことです。普通のコメディーですが、日本で見たのは初めてです。三つ目は、初めてたこ焼きパーティーに出たことです。クラスメートと松田君のお姉さんの友達を何人誘って、みんなと協力してたこ焼きを作ったり食べたりして、にぎやかなパーティーでした。

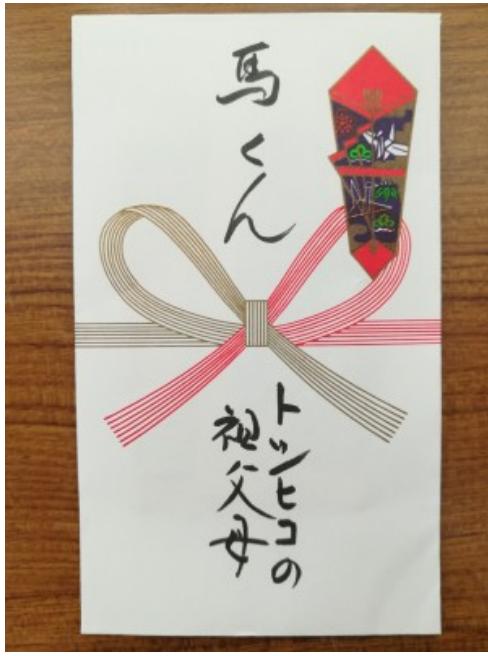
そして、木下君の家での四日間には、大好きなワンピースのガレージキットを買いました。大晦日に初めて日本の有名な紅白歌合戦の生放送を見たり、初めておせち料理を味わったり、初めて初詣をしました。日本の大晦日はどのようなことか、わかるようになりました。

お正月は小山田君の家で過ごしました。おじいさんとおばあさんからお年玉をいただきました。お母さんはお雑煮を作ってくれて、日本各地のお雑煮の区別を教えてくださいました。それに、門松としめ飾りの風習も教えてくださいました。お父さんは僕たちを別府の「海地獄」に連れて観光して、おいしい地獄蒸しプリンを食べました。小さい店ですけど、名を慕って来る人が大勢います。ほかに、小山田君の誕生日を祝って、パーティーの後オセロを楽しんでいました。

冬休みの出来事はこれ以上ではありません。ほかの楽しかったこともたくさんあります。この日記ですべて書けませんが、全部プラスしたら、答えは僕たちの充実していた冬休みです。どの出来事でも、ホームステイの家族たちが心を込めて準備してくださいましたことです。僕にとっては、すべてうれしくて忘れられない記憶です。

ホストファミリーのみなさま、大変お世話になりました！どうもありがとうございました！





これは日本語で投稿されたものです

馬文治さんの日記

日本での楽しい日々#8 研修旅行in台湾

2018.04.15

3月14日(水)

台湾に着きました！もとはバスで台南に行こうと思いましたが、チケットがめんどくさかったから新幹線にしました。新幹線では、台湾の方言の放送があることに気づきました。TAさん(TAのWendyさんはとてもやさしい一人だ)に聞いて、なんと標準語がわからないお年寄りのためのサービスです。もし南京のバスと地下鉄で南京の方言の放送が聞こえたら、どうなるでしょう(笑)今日はホテルで日本人のおばあさんの質問をフロントに通訳して、解決しました。日本語でほかの人を助けて嬉しかったです！

3月15日(木)

成功大学でのアンケート調査は順調に進んでいて、僕たちは最も先に終わったグループです。午後はインターネットで良い評判を取っている店でめっちゃおいしいフルーツのかき氷を味わいました。夜は夜市に行くつもりでしたが、雨のせいで焼肉にしました。残念ですが、台北に行ったらきっと夜市に行けます！

3月16日(金)

新幹線で台北に着きました。うちのグループは西門町という町で自由行動をして、小山田といっしょに気に入るプレゼントを買ったり、Wendyさんが意外にクラスメートに会つたり（「台湾小ちやいね」と感嘆しました）、ラッキーの所た！それから、アジアで一番高いビル101と行って、望みが叶って夜市にも行きました。うれしかったですが、本当に疲れました。

3月17日(土)

観光の一日です。中正記念堂と忠烈祠より、やはり九份のいろいろな店は見るべき所です(笑)でも雨は大変でした。リュックサックも靴も雨に濡れました。「河野先生を探せ」はもちろん今日の写真の一位です。

3月18日(日)

早く起きて台湾を離れて、大分に帰りました。今度の研修旅行は、楽しい思い出になります！みんな、お疲れ様でした！お世話になった方々、特に心連心の先生方が今度の機会をくださって、どうもありがとうございました！

(研修旅行を終えて)

台湾で人と中国語で話していた時、「中国語うまいね」「僕は中国人だよ」「ハリハリ、そうかそうか」のような場合がよくありました。中国人ですから、二人はすぐ親しくなって、交流も順調になってきました。これらの交流をきっかけとして、相手に「『大陸』についてどう思う」と聞きました。

なぜ聞くかというと、台湾での一日目、テレビで中国に反対するひどい言論を見ました。もとは台湾にそんな声があると聞いていますが、目の当たりにした時はやはり受け入れられません。ですから、台湾人の考えを知りたかったのです。

あるタクシーの運転手さんは遠慮せずに台湾の政治を批判しました。「民主すぎたからめちゃくちゃだ！」と言って、「大陸」との親しみを表わしました。

聞いた人が多くなかったんですけど、「『大陸』は嫌だ」と答える人はぜんぜんなかったです。でも、残念ですが、そんなに急進的な声がやはり存在しています。つまり、今も台湾と大陸の微妙な関係が続いているのです。

どうしたらいいでしょうか。

待つしかできないのか。

いいえ。僕なら、前の交流会で知り合った台湾の友達に考えが伝えられるし、クラスメートや先生方など、身近な人に「中国が一つしかない」の事実が伝えられます。

自分自身ができることをやるのが必要ですね。

台湾が「国」と呼ばれないように。

中国がもっと良くなるように。



これは日本語で投稿されたものです

日本での楽しい日々#9 ゴールデンウィーク

2018.06.03

(ずっとネットのせいで投稿できなくて、遅くなってすみません!)

四月はうれしい気持ちのうちに終わりました。なぜかというと、それはもちろんゴールデンウィークを迎えたからです！ゴールデンウィーク中は大分で過ごすと思いましたが、今度のホストファミリーは佐伯市に住んでいると聞きました。日本に来たばかりの時、ちょうどシルバーウィークでしたから、クラスメートの矢野さんの家族たちにお世話をになって、佐伯市の実家で何日間泊まったことがあります。佐伯で大漁祭や回転寿司などいろいろ体験して、来日前ぜんぜん想像できなく、とてもいい思い出でした。それでは、ゴールデンウィークはどういうふうに日本のことを経験するか。楽しみの気持ちを持っているまま、細川さん夫婦に会いました。主人は軍事の模型に深い興味を持って、自分が作る「大和」と「赤城」という空母の模型を見せてくださいました。六年間に毎日仕事が終わった後模型の進行を少しづつ進めてやり抜いて、誇りとする作品です。

次の日、熊本阿蘇火山に行きました。火口の規制は幸運にちょうど何日間前取り消しましたので、この生きている火山を目の当たりにしました。火口はずっと激しく噴煙していて、とてもダイナミックな景観です。これこそ、生きている地球の様子でしょう。火口の近くにある爆発した時飛んできた岩にひどく壊されたロープウェイ駅を見て、自然の力も軽視できないなあとと思いました。

夕食は庭で焼肉を楽しでいました。雰囲気満点のランプの光で、僕たちは国々のことをしゃべって、北朝鮮とアメリカの核協定について「君の名は」がもじる「君の核は」の図を見せて、みんなを笑わせました。

話によると、細川さん夫婦は二十年間ほど留学生を受け入れていて、今も連絡を取っている人が多いです。なぜホストファミリーになりたいかと聞いて、外国から来る人とテーブルを取り囲んで座って話したり、同じ出来事に対して違う考え方をわかるようになったり、こういうのが珍しい経験だと思うからです。細川さんは僕たちに「機会があればたらホストファミリーになりましょう」と励ました。この励ましはきっと忘れません。

許君は歌がうまいそうですから、細川さんは僕たちをカラオケに連れていきました。アメリカからの留学生龍之介君と四人で心ゆくまで歌いました(最もうまいのはもちろん許君だった)。

ゴールデンウィークの後半は高司さんの家に過ごしました。一日目はまた焼肉パーティーを行いましたが、五人家族ですからにぎやかな気持ちでした。子供はみんな男子ですから、ゲームをきっかけにして、すぐ仲良くなりました(これもコミュニケーションだ笑笑)。

後、八ヶ月ぶりに、自転車に乗りました。伊藤君が案内してくれて、自転車でカラオケに行きました。二度のカラオケでしたが、許君は違う歌を歌い、うつとりと耳に心地よい音をもう一度聞かせました。

うれしかった一週間でした。また二つ親切なホストファミリーを知り合い、すばらしかった交流の機会です。どうもありがとうございました!

残念なことは、朝寝坊をしてしまいました…





これは日本語で投稿されたものです